

1 伝えたかったこと

私は、「総合的な学習の時間は、先生にとっても子供にとっても価値があり意味のある時間であってほしい」と、常に願っています。なぜなら、このような時間を過ごすことで、大人や友達と一緒に取り組む楽しさや、自己調整力や学習スキル等の資質・能力を子供たちが身に付けることができ、予測困難な社会を生きていくことができる優れた問題解決者が育つと考えているからです。

この講義に参加する機会を馬居先生からいただいたとき、このことを学生の皆様に伝えたいと思いました。多くの授業実践の中には、先生にとっての価値は感じ取れるが、子供にとっての意味を感じ取れない学びがあるからです。総合的な学習の時間を構想するときには、ぜひこのことを忘れないでいてほしいものです。

2 レポートを拝見して

8つのグループのレポートを拝見しました。レポートのキーワードには、貧困、産業、食、SDGs、防災、女性の就労、静岡県の農業、ジェンダー等がありました。これらは今日的課題であり、総合的な学習の時間の問題とし子供たちが取り上げる内容でもあります。まさに、先生にとっても子供にとっても価値や意味があるものと言えます。

レポートを読ませていただいて、自分の専門に引き寄せてどのグループもよくまとまっているという感想をもちました。食に関する記述が多いのも特徴の一つであると思いました。課題としては、探究した後の取組がもう少し具体的なものになっているとよいと思いました。

3 総合的な学習の時間の在り方について

総合的な学習にはまだまだ幾つかの課題があります。地域社会との連携や、教員間の連携等です。コロナ禍においては、校外活動を行うことができず地域社会との連携が遮断されました。ズーム等の活用も一つの打開策として試みましたが、PCによる通信トラブルが多く、通信回線の増幅が期待されています。教員間の連携については、会議を減らし、教員間が自由に打合せをできる時間を作り出すことしか解決策がないように思います。

子供は総合的な学習の時間を楽しみにしています。そんな子供の期待に添うことができるよう、一層の学校と地域社会との連携、教員間の連携が求められています。